

平成19年度 香算研新春研修会「教材」ワークショップ資料

部会	学年	教科書, 単元名	提案者
上学年部会	5 学年	啓林館 「小数のかけ算・わり算」	

「教材」名	もとの単位に気づかせるための学習具
概要	<p>小数の計算の仕方を考える際に、小数を整数に直して考えていく。小数を整数に直すということは、もとにする単位(0.1や0.01)に変えて考える。そのときに、もとの単位を考えるために「学習具」を使う。</p>
作り方	<p>作成の手順 「発泡ポリスチレンパネル(デコパネ)」A2サイズを3枚購入する。</p> <p>3枚のうち2枚を使う。(緑の部分)1枚はそのまま使い、もう1枚で上下に外枠を作る。</p> <p>3枚目で内側の数字の部分を作る。(白い部分)</p> <p>作成した物をボンドで接着し、位や言葉をかいて完成。</p> <div data-bbox="754 1500 1230 1856" data-label="Image"> </div>

<p>作り方</p>	<p>数字カードをパソコンなどで作成する。 できたカードをラミネートする。</p>  <p>数字カードを、 で作った枠に当てはめて使う。</p> 
<p>使い方</p>	<p>場面(単元内)：小数を整数に直す場面を捉え、何を単位にしたらいいか考える場面 場面(授業内)：小数を整数に直す場面で、何を単位にしたらいいか考える場面</p> <p>子どもに、小数のかけ算やわり算の場面で立式させる。 0.1をもとにする計算の仕方を考える際に、本教具を用いる。 0.01をもとにする計算でもできることを確認する。</p>
<p>期待される効果</p>	<p>この場面では、もとにする単位と実際の位とを比べることにより、自分の考えを確認することができる。</p>
<p>「指導」の際の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本「教材」は理解のゆっくりしている児童を中心に使わせて、視覚的に小数を整数に直すことを理解させると効果的である。 ・ 0.1をもとにする単位としたり、0.01をもとにする単位をしたりできるので、何を単位としているかをきちんとおさえるようにしていかないと混乱する。